

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
児童福祉論	講義	2	山川 宏和

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:児童福祉の歴史、制度、サービス、専門職、関連領域との連携について理解する。

到達目標:児童福祉六法の要点が説明できる。子どもの人権や少子化対策、児童虐待問題などの現代的課題に対する我が国の取り組みが説明できる。スウェーデン等の少子化対策を説明できる。

【授業の概要】

1. テキストを基に、各回のテーマについて講義を行う。
2. 必要に応じてDVDなどの映像素材を使用する。
3. 保育士に必要な障害・虐待・待機児童・人権・海外の保育事情などが分かるように説明する。

【全体の授業計画・内容】

1. わが国の児童問題 ひのえうま
事前学修課題：chapter 1 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
2. 児童福祉の課題 子どもの権利条約
事前学修課題：テキスト Chapter 2 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
3. 児童福祉の歴史 岡山孤児院等
事前学修課題：テキスト Chapter 3 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
4. 児童福祉の法制度（1） 児童福祉六法
事前学修課題：テキスト Chapter 4 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
5. 児童福祉の法制度（2） 児童福祉法の改正 ～2004 年
事前学修課題：テキスト Chapter 4 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
6. 児童福祉の法制度（2） 児童福祉法の改正 ～2017 年
事前学修課題：テキスト Chapter 4 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
7. 児童福祉の組織 児童相談所
事前学修課題：テキスト Chapter 4 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
8. 児童虐待（1） 児童虐待の現状
事前学修課題：テキスト Chapter 7 を参照しておく（0.5 時間）。
事後学修課題：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5 時間）。
9. 児童虐待（2） 児童虐待防止法
事前学修課題：テキスト Chapter 7 を参照しておく（0.5 時間）。

事後学修課題：：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5時間）。
10. ひとり親家庭の支援 事前学修課題： テキスト Chapter 6 を参照しておく（0.5時間）。 事後学修課題：：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5時間）。
11. 児童福祉の専門職 事前学修課題：テキスト Chapter 11 を参照しておく（0.5時間）。 事後学修課題：：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5時間）。
12. 母子保健 事前学修課題：テキスト Chapter 6 を参照しておく（0.5時間）。 事後学修課題：：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5時間）。
13. 海外の児童福祉サービス 事前学修課題： テキスト Chapter 5 を参照しておく（0.5時間）。 事後学修課題：：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5時間）。
14. 障害児福祉サービス 事前学修課題： テキスト Chapter 9 を参照しておく（0.5時間）。 事後学修課題：：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5時間）。
15. 試験およびまとめ 事前学修課題： テキスト Chapter 8 を参照しておく（0.5時間）。 事後学修課題：：学んだ内容を指定用紙に記録する（0.5時間）。
【学習のあり方】 予習のあり方： テキストの該当箇所を読んでおく 学習のあり方： DVD 素材の内容等もメモをとる 復習のあり方： 返却される講義メモをもとに資料を作成する
【成績評価】 平常試験（80%）、提出物（20%）
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】 提出された講義メモに、訂正すべき箇所があれば訂正し、質問等には解答して返却する。
【テキスト】 喜多一憲・監修 堀場純矢・編集 「児童家庭福祉」みらい
【参考文献】 授業中に提示する
【実務経験の有無】 なし